

良質大豆生産のポイント

- ◎ 排水の良いほ場づくり(排水の徹底)
- ◎ 的確な中耕培土
- ◎ 適正な栽植本数
- ◎ 乾燥時の畦間かん水
- ◎ 適正な播種
- ◎ 病害虫の適期防除
- ◎ 雑草防除
- ◎ 雑草防除
- ◎ 施肥量の遵守
- ◎ 適期収穫

の栽培基準

生殖生長期(登熟期間)			
8月	9月	10月	
<b>開花期</b> 莢が伸びきった頃 ◎基本病害防除① ◎基本病害防除② ◎子実肥大期 ◎基本病害防除①	<b>莢伸長期</b> ◎基本病害防除②	<b>黄葉期</b>	<b>成熟期(収穫)</b> ◎乾燥・調整 ◎脱粒 ◎乾燥調整施設へ

**畦間かん水**

- ・かん水は短時間で行い、水が全体に行き渡った後、すみやかに込まれる場合は、その都度かん水する。(開花後40日間まで)
- ・開花期から蒸散が活発になるので、晴天が3日程度続くと見排水する。
- ・かん水は短時間で行い、水が全体に行き渡った後、すみやかに込まれる場合は、その都度かん水する。(開花後40日間まで)
- ・開花期から蒸散が活発になるので、晴天が3日程度続くと見排水する。

**乾燥及び選別は農協の施設で行う。**

- ・刈取高さは地表から10cm程度とし、絶対に土を入れない。中へ入れない。
- ・青立ち株や大きい雑草はあらかじめ除去し、絶対コンバインの収穫作業は効率的に行い、収穫適期内で終了する。
- ・コンバイン収穫
- ・なつた頃になつたら刈り取りする。
- ・落葉し、子実水分が22%以下(子実が球形で固く、莢の90%が褐色に抜き取る。
- ・収穫時期が近づいたら、青立ち株や草丈の大きい雑草を圃場から抜き取る。
- ・カメムシ類の発生が多い場合は追加防除する。

病害虫防除

区分	体系	防除時期	対象病害虫	使用農薬・10a当たり散布量	収穫前日数	使用総回数
基本防除	播種	1回目 8月10~15日	紫斑病	Zボルドー粉剤DL 3kg	-	-
		2回目 8月24~29日	カメムシ類	ダントツ日粉剤DL 4kg	21日前	4回以内
	無入航空機	1回目 8月10~15日	紫斑病	トライフロアブル 8倍 0.8L	14日前	2回以内
		2回目 8月24~29日	カメムシ類	スミチオン乳剤 8倍 0.8L	21日前	4回以内
随時防除	播種	7月下旬から8月上旬	ウコンノメイガ	アマミスタートレボンSE 8倍 0.8L	21日前	2回以内
		8月下旬	アブラムシ類	ダントツ日粉剤DL 4kg	7日前	3回以内
	無入航空機	8月中旬から9月中旬	カメムシ類・マメシキイガ	ダントツ日粉剤DL 4kg	7日前	3回以内
		7月下旬から8月上旬	ウコンノメイガ	プレバソソフロアブル5 32倍 0.8L	7日前	2回以内
		8月中旬から9月中旬	マメシキイガ・ハスモンヨトウ	プレバソソフロアブル5 32倍 0.8L	7日前	2回以内
液剤	9月上旬から中旬	カメムシ類	スミチオン乳剤 8倍 0.8L	21日前	4回以内	
液剤	7月下旬から	ハダニ類	ニッソラン水相剤 2000~3000倍 150L	7日前	2回以内	

大豆(えんれののそら)

<えんれののそらの特徴>

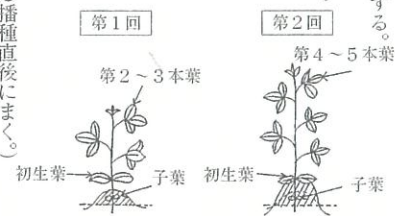
- ・「エンレイ」に離裂莢性を付与し、莢がはじけにくい。
- ・成熟期は「エンレイ」より5日程遅い。
- ・施肥、栽植本数、防除等の管理は「エンレイ」と同じ。

[大豆の生育と栽培管理]

生育と農作業	排水対策・土づくり期間			栄 養 生 長 期 間		
	4~5月			6月		
◎土づくり ◎圃場排水 ◎種子消毒 ◎種子の準備 ◎1回目培土	◎施肥 ◎整地・畦立 ◎耕うん・碎土 ◎播種期 ◎除草剤の散布 ◎出芽期	◎2回目培土	◎1回目培土	◎2回目培土	◎1回目培土	◎2回目培土

**雑草が発生している場合は除草剤を散布する。**

- ・播種後30~35日頃 (播種後4~5枚の頃、初生葉が埋まる程度)
- ・本葉2~3枚の頃、子葉が埋まる程度。
- ・培土後の溝と排水口を連結する。
- ・播種後20~25日頃 (播種後2~3枚の頃、子葉が埋まる程度)
- ・除草効果が高めるため、土の湿っている播種直後にまく。
- ・トレファノサイド粒剤25を散布する。
- ・播種後の溝や額縁排水溝を手直しし、排水口へ連結する。
- ・播種は6月上旬以降に実施する。
- ・土塊を細かくする。(出芽揃い及び除草効果を高める)
- ・塗沫処理する(JAで実施)。
- ・紫斑病・タネバエ・フタスジヒメハムシ予防のクルーザーMAXXをサブソイラー等により透水性を改善する。
- ・排水条件をよくするため額縁排水溝を設置する。



土づくり(10aあたり)

品名	10a当り 施用量
シェルホス	100kg
又は	
苦土石灰	100kg
+ 粒状ようりん	40kg
堆肥	2~3m <sup>3</sup>

播種量

※百粒重 大粒33g 中粒27g、苗立率90%

時 期	種子量(kg/10a)		栽植本数 (本/10a)	スプロケット	
	大粒	中粒		目皿側	車輪側
5月30日~ 6月上旬	5.5	4.5	16,000	10~11	13
6月中旬	6.3	5.0	18,000	9~10	14

※目皿はB2を使用する

施肥量(kg/10a)

体系	基 肥 基肥555(15-15-15)
単作	15~20
麦跡	20~25

※土壌中のリン酸が目標値以上の場合には施用しなくてよい。

栽培の留意点